

2025 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会(2024.12.9 開催) Q&A

Q.中国向けの取引は全体の何%ほどか？ また、中国経済の後退による御社への影響は？

A.全体の 5%程度のため影響は軽微に留まる。

Q.クレイサイエンスは今後どのような成長が期待できるか？

A.主力製品であるクニピアの伸長。新たな用途や潜在ニーズの発掘・開拓に取り組んでいる。

Q.クニピアの利益率をどのように今後も維持していくか？ また、主な取引先はどこか？

A.クニピアシリーズを拡充させることで、高利益率の維持に努める。秘密保持契約の関係上詳しくは言えないが、大口のお客様には工業用原材料として使用されている。

Q.化粧品向けの売上はさほど大きくないか？

A.現時点では全体に対する構成比は高くないものの、新規拡販に向けて付加価値を高める方法を検討している。

Q.長期的な御社の展望において、現状とはどのような点で異なるか？

A.視点を換え、イノベーションの創出を目指す。これまでベントナイトの用途展開は主に鋳物、土木、環境分野に限られていたが、今後はミクロの世界にまで視野を広げ、さらなる可能性の追求に取り組む。

Q.経済産業省が廃炉後の原発建て替え場所を別の敷地でも容認する方針を示したが、御社の事業にプラスとなるか？ 発電所敷地での低レベル放射性廃棄物処理が増加するか？

A.現時点では当社製品需要への影響は分からないが、日本の技術力は原子力分野においても世界トップクラスの水準にあり、エネルギー資源の乏しい日本にとって、原子力発電は安定した電力供給を支える重要な選択肢である。エネルギーコストの削減は経済の活性化に寄与するため、そういった意味で前向きなニュースだと捉えている。

Q.建機やトラック向けは当面回復しないか？

A.中長期的には回復すると思うが今期は低調に推移する見通し。

※決算説明会中には回答できなかった質疑応答も含めて記載しております。

以上